

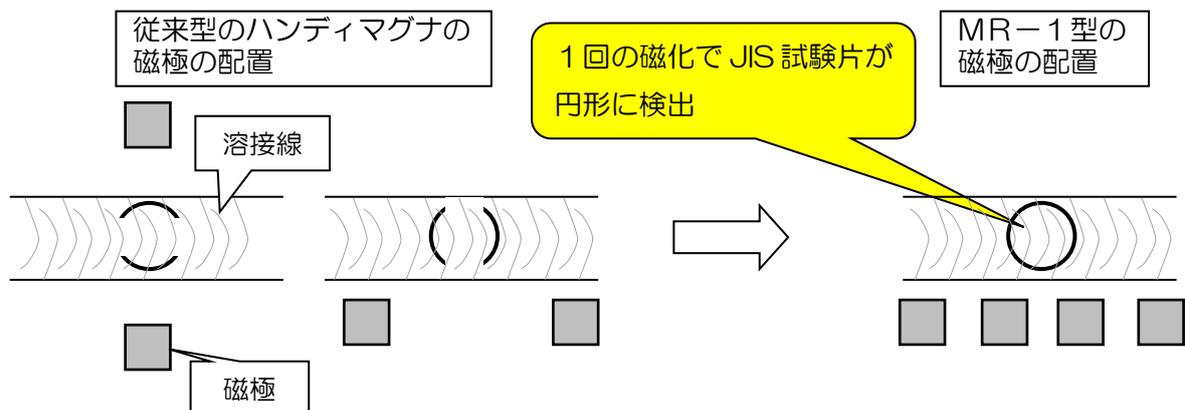
# MR型ハンディマグナ

一度の磁化で全方向の欠陥検出が可能／新しいタイプの4極極間磁化器

MR型ハンディマグナは主に溶接部の検査を容易にするために開発された携帯型極間式磁粉探傷装置です。

従来の携帯型極間式探傷装置は磁極間を探傷範囲としており、また一回の磁化で単一方向の探傷しか行えないため、全方向の欠陥探傷を行うためには互いに直交するよう二回の磁化を行う必要がありました。

しかしこのMR型ハンディマグナは、磁化器周辺に2方向の交番磁場を発生させますので、1回の磁化で全方向の欠陥探傷を可能にいたしました。



## ◆ 特徴 ◆

- ① 磁極の配置を溶接線に平行に配置することにより磁極周辺部の溶接部に存在するあらゆる方向の欠陥検出が出来、欠陥指示模様全景を得ることができます。
- ② 磁極の配置を変える必要がなく、作業時間が短縮され作業員の負担が軽くなります。
- ③ 隅肉部においても溶接線に平行に配置することにより探傷が可能となります。
- ④ 電源がAC100Vですので、従来のハンディマグナと同様に出張検査などに最適です。
- ⑤ オプション品のローラーを取り付ければ、走行させながらの連続探傷も可能です。

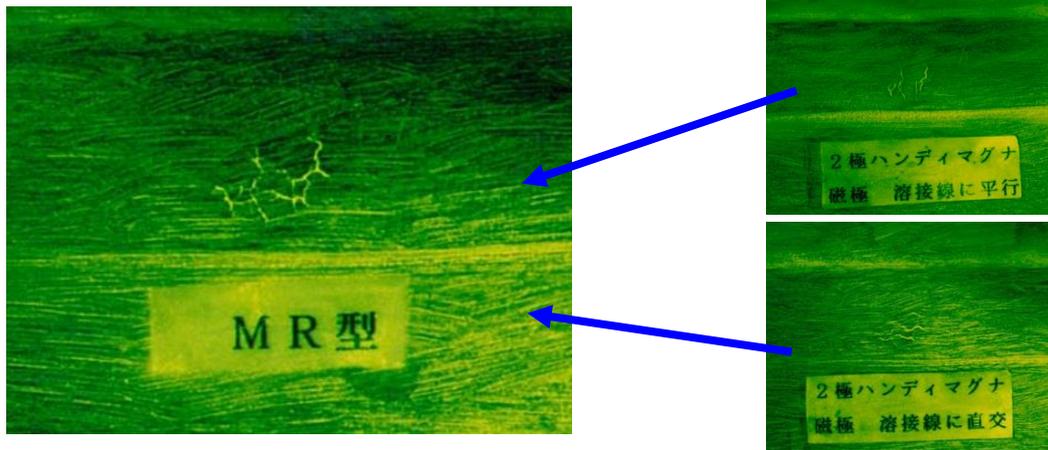
# MR型ハンディマグナ

## ◆ 仕様 ◆

型式	MR-1	
	50Hz仕様	60Hz仕様
定格電流値	約7.5A	約6A
起磁力	5000AT以上	
リフティングパワー	20ポンド以上	
有効探傷範囲	磁化器側面の100×100mmの範囲 (JIS A1 30/100 検出範囲)	
電源電圧	AC100V 50Hz/60Hz (200V仕様も製作可)	

## ◆ 探傷事例 ◆

### ① NDI 試験用溶接鋼板



### ② 溶接構造部品

通常の磁化器では保持が困難な場所の探傷を容易に行うことができます。

(写真は JIS A1 試験片 30/100)

